

美しい 県土づくりNEWS



2008 年

7月

岩手県県土整備部

手づくり広報誌 48号

平成20年7月16日発行

編集 県土整備企画室

目次

- 2 岩手・宮城内陸地震からの復興へ向けて
- 3 平成20年岩手・宮城内陸地震による公共土木施設の被害状況・復旧状況等について
- 5 土木関係被害状況
- 6 土木関係被害復旧状況
- 7 土木関係被害復旧等状況[資料]
- 10 遠野第二ダム 親子見学会を開催
- 11 「御所湖広域公園」“無料開放 dayのお知らせ”と“尾入野湿生植物園のスイレン”
- 12 国土と交通に関する図画・作文を募集中
- 13 平成20年度「森と湖に親しむ旬間」行事予定表

平成20年岩手・宮城内陸地震から1ヶ月

6月14日(土)8時43分に発生した地震は、一関市、奥州市を中心に大きな被害を残しました。発生から1ヶ月、関係機関協力のもと公共土木施設の復旧作業を進めてきましたが、復旧にはまだまだ時間を要します。県土整備部では、これからも引き続き総力を挙げて復旧に取り組んで参ります。



(写真) 震源地近くの国道342号での土砂崩落の様子。道路に面した法面が崩落し、直径数mの巨石が幾重にも道路を覆っており、地震の規模の大きさがうかがわれます。 [一関市槻木平地内]

岩手・宮城内陸地震からの復興へ向けて

県土整備部長 佐藤 文夫



岩手・宮城内陸地震から1ヶ月が経ちました。

今回の地震は、最大震度6強という本県観測史上かつてない地震となりました。改めて亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、負傷された方々、現在も避難生活をよぎなくされている皆様をはじめ被災者の皆様に心からのお見舞いを申し上げます。

今回の地震では、県内外から様々なご支援ご協力をいただきました。岩手県建設業協会の皆様には、地震発生直後から応急復旧に欠かせない重機搬入路の整備などに献身的にご尽力をいただきました。また、国土交通省におかれましては、磐井川の市野々原地区と産女川地区において、いち早く直轄砂防災害関連緊急事業を採択していただきました。このように、発災直後から地元、国、そして各界の皆様迅速にそして精力的に災害復旧にあたっていていただいておりますことに、この場をお借りして心から感謝を申し上げます。

本県では、人的な被害に加えて、住宅、道路、橋梁、斜面崩落による「せきとめ湖」の発生など、被害総額は294億円余となり、そのうち土木関係は、一般国道342号の一関市巖美町から須川温泉までの区間などで165億円余と最も大きな被害を受けました。

災害復旧にあたっては、地震で被災された方々が元の生活に戻ることが復旧の目標であることを念頭に全力を挙げて取り組んでいますが、道路をはじめとした社会資本整備が、住民生活や地域産業を支えるうえで、いかに重要であるかを改めて痛感しているところです。

地域の皆様をはじめ、地元市、そして国と連携を図りながら、まずこの災害を乗り越え、明るい希望が持てるよう努力して参りたいと考えております。



冬柴国土交通大臣に被害状況の説明をする佐藤部長
(6/15・地震発生翌日、一関市にて)



冬柴国土交通大臣とヘリ視察



矢びつダム付近の崩落状況

平成 20 年岩手・宮城内陸地震による 公共土木施設の被害状況・復旧状況等について

6 月 14 日に発生した岩手・宮城内陸地震により一関市、奥州市を中心に公共土木施設が激甚な被害を受けました。発生から1ヶ月、これまで関係機関等の協力のもと一丸となって災害状況の調査や復旧作業などを進めてきました。復旧にはまだまだ時間を要しますが、現時点における、公共土木施設の被災状況や復旧情報等についてお知らせします。



国道 342 号の復旧状況（一関市）

- ・ 矢櫃ダム付近の土砂撤去状況（写真右）
- ・ 迂回路のための橋梁設置状況
（厳美町市野々原地区：写真左）

◆「土木関係被害状況」（7 月 11 日時点の集計）

被害地域は一関市や奥州市をはじめとする 3 市 4 町に亘り、被害件数は 394 箇所、被害額は 165 億円余となっています。

このうち、県工事は 211 件 140 億円余、市町村工事は 183 箇所 25 億円余となっています。

施設別では、道路が県分 170 ヶ所 106 億円余と市町村分 155 ヶ所 14 億円余の合わせて 325 ヶ所 121 億円余と最も多く、次いで橋梁（33 億円余）、河川（4 億円）などとなっています。

◆「復旧に向けた取組み」

土砂災害対策を効果的・効率的に進めるため、宮城県と合同で「平成 20 年 岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会」を設置し、去る 6 月 28 日に第 1 回検討委員会を開催しました。

また、甚大な被害を受けた一般国道 342 号の祭時大橋から秋田県境までの区間の復旧について、高度な技術検討を行うため「平成 20 年岩手・宮城内陸地震に係る国道 342 号災害復旧技術検討委員会」を設置し、7 月 3 日に第 1 回委員会を開催しました。

さらには、国道 342 号祭時大橋の被災メカニズムの解明や復旧にあたっての技術的配慮事項の抽出を行う「国道 342 号祭時大橋被災状況調査検討委員会」を設置し、7 月 25 日に第 1 回検討委員会を開催します。

◆「災害の本復旧に向けた国の査定」

7月28日から8月22日の期間に、4週連続して実施の予定です。

緊急に対応している箇所は引き続き復旧に努めるとともに、県としては、この災害査定終了後、できるだけ速やかに本格的な復旧に入ります。

◆復旧作業等に係る「現地への応援体制」

現地で対応にあたっている県南広域振興局土木部と一関総合支局土木部を支援するため、部内各課や各振興局土木部等から6月17日から6月20日に延べ136人を派遣し、被災状況の調査を行ったほか、災害査定の申請準備のため6月30日から8月22日の期間に延べ780人を派遣し、体制を強化しているなど、県土整備部の総力をあげて復旧に取り組んでいます。

◆「被災者のための住宅対策」について

住宅改修等のための住宅金融支援機構による災害住宅復興融資が6月24日から適用開始され、県では、この制度の周知に取り組んでいます。

また、被災地などへ住宅相談窓口を設置したほか、行政や住宅金融支援機構の専門家などによる特別住宅相談会を開催しています。

さらに、被災した方々からの要請に応じて、県が被災住宅の現場に住宅相談に応じる専門家を派遣する制度も開始し、被災者のための住宅対策に取り組んでいます。

県土整備部における最新の土木関係被害復旧等のとりまとめは、こちらのHPからもご覧になれます。

<http://www.pref.iwate.jp/list.rbz?nd=3013&ik=3&pn=17&pn=66&pn=2156&pn=3013>



土木関係被害状況（平成20年7月11日 16:00 現在）

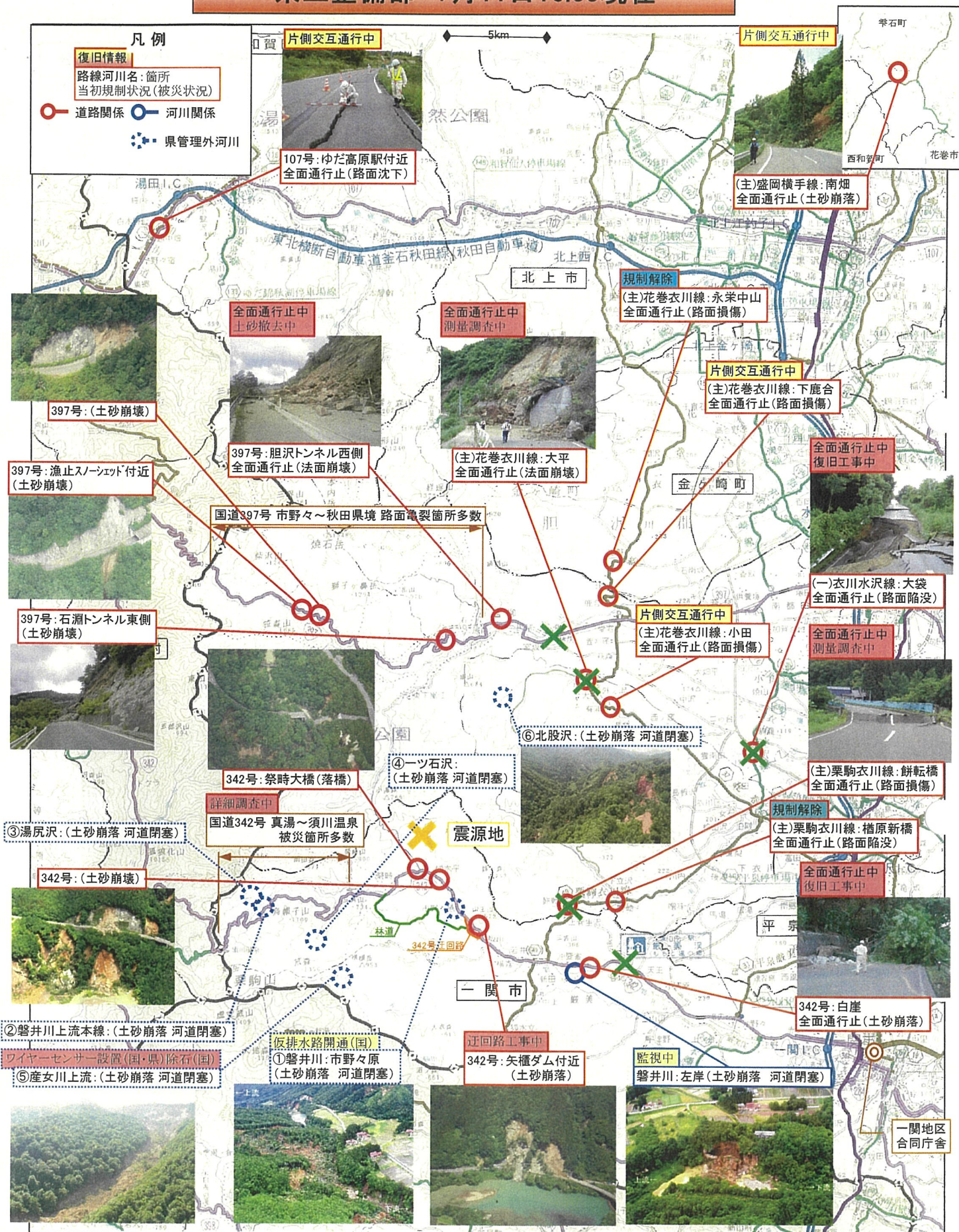
（単位：千円）

区 分		市町村名	雫石町	北上市	西和賀町	奥州市	金ヶ崎町	一関市	平泉町	合 計
県工 事	道路	被害箇所	1	6	1	68	5	89		170
		被害額	100,000	140,000	95,000	2,602,000	32,000	7,725,000		10,694,000
	橋梁	被害箇所		1		12		11		24
		被害額		30,000		527,000		1,950,000		2,507,000
	河川	被害箇所				2		9		11
		被害額				18,000		164,000		182,000
	砂防設備	被害箇所						4		4
		被害額						183,000		183,000
	地すべり防止施設	被害箇所						1		1
		被害額						398,000		398,000
	下水道	被害箇所				1				1
		被害額				90,000				90,000
	県工事 計	被害箇所	1	7	1	83	5	114		211
		被害額	100,000	170,000	95,000	3,237,000	32,000	10,420,000		14,054,000
市町 村工 事	道路	被害箇所			1	90	4	53	7	155
		被害額			12,000	600,500	45,000	650,000	130,000	1,437,500
	橋梁	被害箇所				5		6		11
		被害額				208,000		633,000		841,000
	河川	被害箇所				3		11		14
		被害額				18,000		199,000		217,000
	公園	被害箇所				1				1
		被害額				2,000				2,000
	下水道	被害箇所				1		1		2
		被害額				9,600		15,000		24,600
	市町村工事 計	被害箇所			1	100	4	71	7	183
		被害額			12,000	838,100	45,000	1,497,000	130,000	2,522,100
合 計		被害箇所	1	7	2	183	9	185	7	394
		被害額	100,000	170,000	107,000	4,075,100	77,000	11,917,000	130,000	16,576,100



土木関係被害復旧状況

県土整備部 7月11日16:00現在



土木関係被害復旧等状況（１）

	被害状況等	復旧作業状況等
施設区分	7月11日 16時00分現在	
道 路	○全面通行止め 5路線5区間	
	[国道342号] 一関市巖美町天王～須川温泉（土砂崩落、落橋・祭時大橋）	白崖地区復旧工事中、市野々原地区迂回路7月中旬の開通を目途に工事中、祭時～県境詳細調査中 ※秋田県情報 6月25日13時 秋田県側から須川温泉までの全面通行止めが解除。日中：片側交互通行（9：00-17：00のみ）
	[国道397号] 奥州市胆沢区若柳字市野々～秋田県境（法面崩壊）	通行止区間内土砂撤去中
	[主要地方道花巻衣川線] 奥州市衣川区大平（法面崩壊）	測量調査中
	[主要地方道栗駒衣川線] 奥州市衣川区餅転橋（路面損傷）	測量調査中
	[一般県道衣川水沢線] 奥州市胆沢区大袋（路面陥没）	規制解除に向け工事中
	○片側交互通行 4路線5区間	
	[国道107号] 西和賀町ゆだ高原駅付近（路面沈下）	
	[主要地方道花巻衣川線] 奥州市衣川区小田（路面損傷） 奥州市胆沢区下鹿合（路面損傷）	
	[主要地方道盛岡横手線] 雫石町南畑～西和賀町沢内川舟（土砂崩落）	
	[一般県道夏油温泉江釣子線] 北上市和賀町内鱒沢（法面崩壊）	
	○復旧済箇所 [主要地方道栗駒衣川線] 奥州市衣川区楢原新橋（路面陥没）→6月18日 規制解除 [主要地方道花巻衣川線] 金ヶ崎町永栄中山（路面損傷）→6月20日 14：00～ 規制解除	
河 川 砂 防	河道閉塞によるせき止め湖等の可能性があり、今後、雨等により被害が拡大する恐れのある箇所は、「一関市市野々原地区」を含め県内で6箇所となった。	
	○県管理 [胆沢川（五松林橋上流左岸）] 堤防天端にクラック有り。L=50m、W=1.5cm、深さ15	
	[磐井川] 斜面崩壊により河道内に土砂流入（2箇所）。2箇所とも水位の上昇がみられないことを確認。	
	[久保川] 小規模な土砂崩落があり。堤防に一部クラック発生。	
	[尿前川（しとまえがわ）] 斜面崩落2箇所確認。	
	○県管理外 [衣川支川有浦沢川（上衣川有浦地区）] 土砂崩落により河川閉塞。（L=30m、W=3-4m）	仮排水路を設置済。（奥州市管理普通河川）
	[磐井川上流] 斜面崩壊による河道閉塞 4箇所。 ①磐井川（一関市市野々原地区）	○国土交通省 6月17日13時に記者会見し、市野々原地区の天然ダム（河道埋塞）箇所における直轄砂防災害関連緊急事業の実施を発表。事業費－10.7億円 ・6月21日12時30分 仮排水路開通。 ・6月22日排水ポンプ撤去。 ・監視カメラ3台設置済。 ・上流域にセンサー1基設置済。 ・7月5日仮排水路断面拡大掘削完了・通水開始。 ○県 市野々原地区に通じる重機運搬路を17日中に概成。当該地区への資材の搬入が可能となる。

土木関係被害復旧等状況（2）

	被害状況等	復旧作業状況等
施設区分	7月11日 16時00分現在	
河川 砂防	②磐井川（一関市須川岳国有林内） ③湯尻沢（一関市須川岳国有林内） ⑥一ツ石沢（一関市須川岳国有林内）	
	[産女川上流] 山腹崩壊により、1 km以上に渡り土砂が堆積。上空からの確認のため、数量などの詳細は不明。 ④産女川（一関市須川岳国有林内）	○国土交通省 6月21日に直轄砂防災災害関連緊急事業での実施を発表。 除石、監視カメラ1台設置 ○県 ・7月11日 災害関連緊急砂防等事業採択 岩手県一関市岡山地区（砂防えん堤工等） 事業費 約2.3億円 ・竜ノ口えん堤にワイヤーセンサーを6月23日に設置完了。 ※上流域には林野庁でワイヤーセンサーを設置。
	[北股川上流] 斜面崩壊による河道閉塞を1箇所確認。 上空からの確認のため、数量などの詳細は不明。 ⑤北股沢（奥州市衣川区増沢地内）	
	・現時点での砂防えん堤の被害報告なし。	現在調査中
	・衣川地区で地すべりの報告	表層崩落により今後対応策検討。自主避難4戸18名。 亀裂部分にシート保護を実施。
		・TEC-FORCE、砂防ボランティア、県の合計61名が、土砂災害の危険箇所を緊急点検。箇所数は累計1,645箇所。 ※結果：危険度A（要検討）9箇所、危険度B（要詳細調査）52箇所 ※通行止箇所等を除き完了
		【土砂災害警戒情報】 6月15日から地盤の緩みを考慮し、通常より少ない雨量で発表。
都市公園	○奥州市管理 見分森公園他5箇所一部被害あり。	開園中 一部立入禁止措置
	○金ヶ崎町管理 森山総合公園 一部被害あり。	開園中
下水道	○県管理 [水沢浄化センター] 汚泥消化タンクかくはん機及び、汚泥濃縮機他故障	現在調査中 (別系統に運転を切り替えて機能維持しており、運転上は支障なし)

土木関係被害復旧等状況（3）

	対応状況等	判定結果
施設区分	7月11日 16時00分現在	
住 宅	○一般住宅(被災建築物応急危険度判定) 6月15日14時30分ー県庁に、被災建築物応急危険度判定支援本部を設置。 ◆一関市 6月17日・19日に市野々原地区他3地区で判定活動を実施。 体制:のべ10名(5班体制) ◆奥州市 6月16日～20日に胆沢区、衣川区で判定活動を実施。 体制:のべ136名(66班体制) ◆西和賀町 6月16日に川尻地区、白木野地区において判定活動を実施。 体制:県3名(1班体制)	判定結果総計(6月16日～20日) 調査棟数1,161棟ー危険54棟、要注意273棟、使用可能834棟 内訳は、次のとおり ◆一関市 調査棟数53棟ー危険9棟、要注意22棟、使用可能22棟。 ◆奥州市 調査棟数1,106棟ー危険45棟、要注意249棟、使用可能812棟。 ◆西和賀町 調査棟数2棟ー要注意2棟。
	○応急仮設住宅等被災者のための住宅対策 市町村からの要請 ◆一関市 被災者が希望する場合の県営住宅への入居について県に要請あり。 →一関市(3戸)、奥州市(3戸)、北上市(5戸)内の県営住宅を7月の定期募集から外し、被災者用に当面確保することとし、関係市に通知 ◆奥州市	一関市:厳美公民館山谷分館(旧山谷小学校)を長期避難先として活用決定し、25日に入居。 応急仮設住宅の建設に向けて建設場所等を調整中。
	○被災宅地危険度判定(震災後の宅地の安全性を確認するための調査を行うもの) ◆一関市 6月17日に判定を実施。 体制:4名(県及び市(盛岡市、花巻市、北上市)) ◆奥州市 6月19日・20日に判定を実施。 体制:のべ50名(25班ー県9班18名、市町村16班32名) (県以外の参加は、盛岡市、花巻市、奥州市、紫波町、矢巾町) ◆西和賀町 6月18日に判定活動を実施済。 体制:県職員3名	◆一関市 危険な地割れの状況が有ることを確認済。今後の対応は、市が行う方針。 ◆奥州市 調査件数293件 - 危険8件、要注意37件、問題なし248件 ◆西和賀町 調査件数2件 - 要注意1件、問題なし1件
	○住宅相談窓口の設置等住宅情報提供 ・応急仮設住宅の着工について 奥州市の要請を受け7月11日から応急仮設住宅の建設に着手。 (胆沢地区…4戸、石生地区…4戸) ・6月19日～今回の地震に対応した住宅相談窓口を設置。 [6箇所] 県南局土木部、一関局土木部、北上局土木部 建築住宅課、県民住宅プラザ(盛岡・水沢) ・7月1日～被災住宅の現場で住宅相談に応じる専門家派遣制度を開始。 ・現地における行政や専門家による特別住宅相談会を開催(予定) ◆一関市 7月11日(金)10:00～16:00 厳美公民館 7月25日(火)10:00～16:00 一関市庁舎 ◆奥州市 7月15日(火)10:00～16:00 衣川総合支所 7月16日(水)10:00～16:00 胆沢愛宕農業者トレーニングセンター	

親子で見るダム現場！

～遠野第二ダム 親子見学会を開催～

遠野土木センター

6月28日（土）遠野小学校1学年とPTAによるダム見学会を開催しました。親子、親同士の交流行事として、PTAが企画したものです。遠野第二ダムは学校から約1kmと極めて近く、ダムは学区内にあります。1学年とその親御さん約100人が学校から歩いて工事事務所に集合。ダムに関するビデオを鑑賞した後、再び歩いてダム現場を見学しました。当日は、コンクリート打設真っ最中で、大型クレーンが頻繁に動き、天気もよく絶好の見学日和でした。完成後にはダムの底になる場所でクレーンをバックに記念写真を撮り、いい親子遠足になりました。



写真-1 工事事務所でダムビデオ鑑賞



写真-2 クレーン前で記念写真

《事業の紹介》

事業主体：岩手県

工事概要：

ダム本体工 H=23.1m

（重力式コンクリートダム）

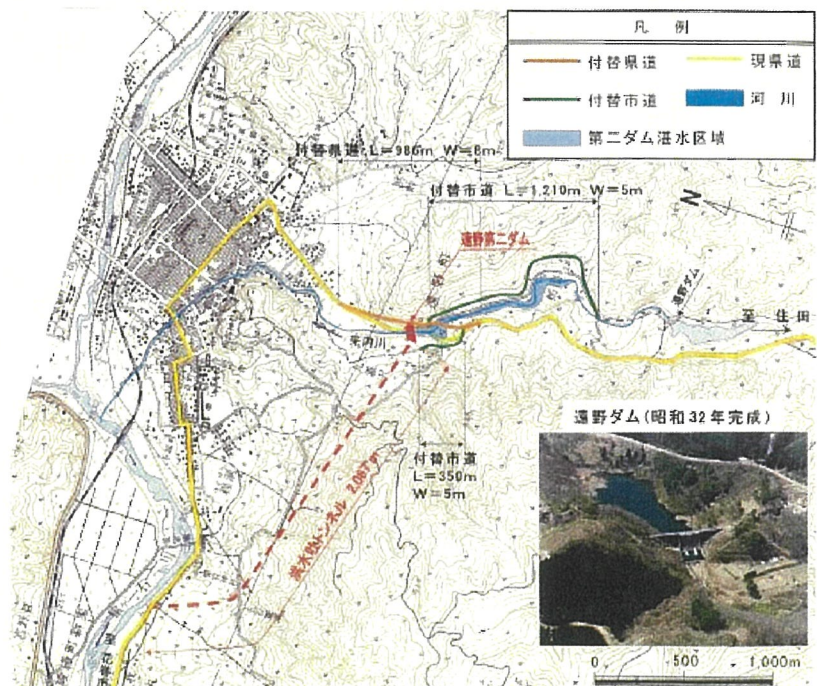
洪水吐トンネル L=2,067m

付替県道 L=986m

付替市道 L=1,560m

事業期間：H2～H22

総事業費：約135億円



「御所湖広域公園」 “無料開放 day のお知らせ” と
“尾入野湿生植物園のスイレン”

盛岡地方振興局土木部



ピンクのスイレン(尾入野湿生植物園)

7月27日(日)は、御所湖広域公園ファミリーランドの有料施設(パターゴルフ等)、御所大橋運動場の野球場、テニスコートが無料となる**無料開放 day**です。

当日は、『御所湖まつり』が開催され、様々なイベント、花火が行われますので、皆様、是非御所湖に足を運んでみてください。

また、尾入野湿生植物園では、ピンクのスイレンが咲き、6月中旬に咲き始めた白いスイレンと2種類のスイレンが楽しめます。

白いスイレンは朝方になると花を開き、夕方になると花を閉じるので、植物園は午前と午後で違う表情を見せます。時間を変えて足を運んでみるのも面白いと思いますので、是非、こちらのほうにも足を運んでみてください。

園内マップ



6月中旬に咲き始めた白いスイレン

◇ファミリーランドは遊具やジャブジャブ池、せせらぎ水路が有り、ご家族連れにお薦めです！

(利用時間) 午前9時から午後5時まで
(利用料金) すべて無料

◆イベントの詳細も掲載。御所湖広域公園のホームページ(指定管理者運営)はこちらから！

http://www.koiwai.co.jp/shiteikanri/gosyo_park/index.html

平成20年度「国土交通DAY」 国土と交通に関する図画・作文を募集中！！

国土交通省では7月16日を「国土交通DAY」と定め、国土交通行政の意義と重要性について国民の皆様のご理解とご協力を得るよう様々な行事を行ないます。

この図画・作文の募集は、「国土交通DAY」の行事の一環として、明日の日本を担う小・中学生の皆さんに、国土交通省が行なっている施策を理解していただくために実施するものです。

昨年度のコンクールでは、図画部門、作文部門合わせて、全国から3,225もの作品が寄せられました。

各県の地方審査を経て推薦された作品を対象に中央審査が行われ、国土交通大臣賞（最優秀7作品）・国土交通事務次官賞（優秀24作品）等が決定しました。

県内からは、合計48作品の応募があり、中央審査へ5作品（図画3作品・作文2作品）を推薦した結果、作文部門で紫波町立紫波第二中学校2年の大角早紀さんが国土交通事務次官賞を受賞しました。

今年も、次のとおり図画・作文を募集中です。県内の各小中学校には、教育委員会を通じて募集要領をお送りします。

◆ 募集要領

1 課題

① 図画の部

募集対象 岩手県内の小学生

題 材 自 由

用 紙 等 画用紙…四つ切（36cm×52cm）

色材料…自 由（ただし、油絵の具を除く）

画材の裏面に画題、応募者の学校名、学年、氏名^{（フリガナ）}を明記してください。

※ただし、標語を入れたポスターは対象外とする。

② 作文の部

募集対象 岩手県内の中学生

題 材 自 由

用 紙 等 B4判 400字詰原稿用紙5枚以内

タイトル、応募者の学校名、学年、氏名^{（フリガナ）}を明記してください。

2 提出期限 平成20年9月26日（金）

3 提出先 〒020-8570 盛岡市内丸10-1
岩手県 県土整備部 県土整備企画室
「国土と交通に関する図画・作文」担当あて

4 中央審査 作品のうち特に優秀な作品は、国土交通省
が実施する全国の小・中学生を対象とした
中央審査に推薦します。

5 昨年の岩手県内の優秀作品

（岩手県県土整備部のホームページから閲覧できます）

ホームページはこちら！

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2169&of=1&ik=3&pnp=17&pnp=66&pnp=2156&pnp=2169&cd=8519>

『国土交通DAY』とは？…

国土交通省設置法が交付された平成11年7月16日にちなんで、毎年7月16日を「国土交通DAY」としています。国土交通行政に関する意義・目的、重要性を広く国民に広報し、日々の安全、美しく良好な環境、多様性ある地域の実現するための基盤形成を推進するため、広く国民の理解と協力を得ることを目的として、当コンクールや関係施設の一般公開など、様々なイベントが開催されます。

豊かな森と湖に触れながら、楽しく学びませんか！

平成20年度「森と湖に親しむ旬間」行事予定表

毎年7月21日から31日は、「森と湖に親しむ旬間」です。この旬間は、森林や湖に親しむことによって心と体をリフレッシュしながら、治山、治水及び水資源として森林整備やダム、河川等の重要性について広く学んでもらおうとするもので、期間中は全国のダムと周辺の森林やダム湖において様々なイベントが企画されています。

岩手県においても、県土整備部が管理している8つのダムのうち、6つのダムで旬間に関するイベントが予定されています。

今年度開催されるイベントは、次のとおりです。ダムや発電所の施設見学、木工教室、カヌー体験や稚魚の放流、魚のつかみ獲りなど、子どもから大人まで楽しめる企画を準備しています。

皆様の参加を心からお待ちしております！

入畑ダム（北上市） ① 遊・YOU・入畑2008！ ・ダム、発電所、岩手中部浄水場の一般公開 ・湖面パトロール ・丸太切り体験 ・木工体験コーナー ・建設機械体験コーナー ② 平成20年7月26日（土） 10:00～16:00 ③ 自由参加 ④ 北上総合支局土木部（0197-65-2738）	日向ダム（釜石市） ① 日向ダム湖畔の集い ・ダム施設一般公開 ・木工教室 ・ダム湖面パトロール ・グラウンドゴルフ大会 ※事前申込(先着112名) ・子供ニジマス釣り大会 ・ダム湖畔ウォッチング ※事前申込(先着5名) ② 平成20年7月27日（日） 9:30～14:00 ③ 一部事前申込必要(7/16〆切) ④ 釜石地方振興局土木部（0193-25-2714）
網取ダム（盛岡市） ① 「森と湖・in網取」2008！ ・植物観察会 ・木工教室 ・魚のつかみどり ・ダム施設の見学 ・湖面パトロール ② 平成20年7月30日（水） 9:30～15:00 ③ 自由参加 ④ 網取ダム管理事務所（019-654-4055）	鷹生ダム（大船渡市） ① 鷹生ダム湖畔の集い ・グラウンドゴルフ大会 ・木工教室 ・気仙杉丸太切り競争 ・ダム施設の見学 ・ダム湖面パトロール ② 平成20年7月27日（日） 10:00～14:00 ③ 一部事前申込必要 ④ 大船渡地方振興局土木部（0192-27-9919）
早池峰ダム（花巻市） ① 第16回「森と湖に親しむ子どもまつり」 ・ダム、発電所の一般公開 ・ウォークラリー ・湖面パトロール（小学生のみ） ・カヌー体験 ・木工細工教室 ・魚のつかみ獲り、稚魚放流 ② 平成20年7月31日（木） 9:00～13:30 ③ 事前申込必要（7/25締切） ④ 花巻総合支局土木部（0198-22-4971）	滝ダム（久慈市） ① 長内川・川まつり ・カヌー体験 ・イワナのつかみ獲り ・リース製作、木工教室 ・ダム施設一般公開 ※事前申込 ・ダム湖面パトロール ※事前申込 ② 平成20年8月3日（日） 9:00～15:00 ダム施設一般公開とダム湖面パトロールは 平成20年7月22日～31日(土日祝日を除く) ③ 一部事前申込必要 ④ 滝ダム管理事務所（0194-59-3838）

①行事名・内容 ②開催日時 ③申込方法 ④申込・問合先

<問い合わせ先> 「森と湖に親しむ旬間」岩手県実行委員会事務局 河川課 (TEL: 019-629-5905)